



~建築は、建てることより育てること~

MIZUNO "旬感"だより

vol.192

令和5年2月号

ふゆふかし
冬深し

一年で寒さが最も
極まる時期のこと

2月の異称=如月(きさらぎ) 厳しい寒さに備えて更に衣を着重ねる様子を表す言葉“衣更着(きさらぎ)”と、中国からきた2月を表す“如月”という漢字が合わさったという説があります。

今月の言葉

『自立とは何か？
夏目漱石に学べ』

養老孟司著 “子どもが心配 人として大事な三つの力” より

「自立」というのも大事な問題ですね。それが成熟の前段階に起こることなのか、同じと捉えるべきかはさておき、子育ては子どもの自立を邪魔するものであってはならないと考えています。

それは大前提として、では、何をもって「自立」とするか。最近、そんなことを考えていて、「自立の何たるかを示す典型例は夏目漱石だ」と気づきました。

ご存知の通り、漱石は文学論を書きたいと思って、三十歳を過ぎてから、イギリス・ロンドンに留学しました。ところが大学で講義を受けても、本を読んでも、役に立たないと感じたといいます。そこにきて国費での留学ですから、何か成果を上げなければいけないという強いプレッシャーもあって、神経衰弱を来すまで落ちこんだのです。

そんな漱石が苦悶の末に気づいたのは、「自分の書きたい文学論は、講義や書物にはない。ゼロから自分で考えるしかないんだ」ということです。その瞬間、漱石は自立したんだと思いますね。

ここで私の言う「自立」は、自分はどう生きていくかを自分でつかみ、しかも社会に適応していく態勢と心構えが整うということです。翻って日本人の場合を考えると、二十代後半くらいかなと思います。



2月・3月は受験生にとって試練の月ですね。受験も自立の第一歩と思います。私も高校受験時に、両親に内緒で「建築科」を受験して、ギリギリ合格できて今があります。あの時(印鑑)の印鑑を貸してくれた叔母には、本当に感謝しています(笑)。

水野博旨

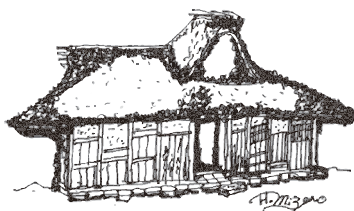
不動産も
ミズノへ!

創業 1950 年の信用と実績を礎に、
不動産業にも力を入れてまいります。
土地 建物 どうぞお声掛けの程、
よろしくお願ひします。

空間設計 ミズノ vol.70 のデザイン記録



名古屋市昭和区「鶴舞公園」の園内にある名古屋市公会堂。現在ではイベントホールとして使用されています。私も大学の入学式と卒業式はこの公会堂で行われたので、個人的にも思い出のある建物です。設計は名古屋市建築課。昭和5年に昭和天皇のご成婚記念事業で建てられ、今も開館当時の姿をそのままに残しています。外壁の出隅(角)に丸みを持たせ、アーチや半円の窓があるなど、ロマネスク的な表現が特徴的。落ち着いたある茶色の色調でまとめられた、少し可愛らしい建物です。 スケッチ・文：水野真宏



伝統再築士による 古民家&日本建築講座

伝統再築士とは…次世代に引継ぎたい文化的価値の高い木造物を残すための専門家

この季節に多くの方が悩まされる“結露”。
なぜ、結露は発生するの？何か対策はある？



気温が低くなると窓ガラスに発生する結露。濡れたままにしておくと、カーテン・壁・床などにカビやダニの発生を促してしまう恐れがあり、建物の老朽化にも繋がるので、見て見ぬふりはできません。



結露の正体は水蒸気です。外気温と室温の差が大きくなると、室内の空気中に含まれる水蒸気の行き場がなくなり、水滴として窓ガラスに現れます。グラスに冷たい飲み物を注ぐと水滴がつくことや、眼鏡をかけてマスクをつけると眼鏡が曇ることと同じ現象です。

結露が発生しやすい条件として、主に“室内の湿度が高い”、“通気性が悪い”ことが挙げられます。時々2カ所以上の窓を開けて換気することや、常にサーキュレーターなどを使って空気を循環させることは結露防止に効果的ですし、暖房の効きも良くなります。また、乾燥防止のために加湿器を使う時は、室内湿度を40~60%に調整するといよいようです。他、窓をペアガラス(複層ガラス)や二重窓にすることも断熱性が上がり効果的です。

株式会社 ミズノ
ホームページ

新ホームページもご覧ください。

mizuno1950

で、検索
又は→



空間設計 ミズノ
ホームページ

www.mizuno-architects.com



立春 は旧暦のお正月。新しい年の始まりです。まだ寒い日は続きますが、少しずつ春が近づいています。

今年は2月3日、節分って、どんな日？

旧暦は太陽の動きに基づいた暦で、立春が1年の始まりとされています。1年は立春・立夏・立秋・立冬の4つに分けられ、“季節を分ける”という意味を持つ節分は、その前日を指します。ですので、本来節分は年に4回ありましたが、大晦日にあたる立春の前日が最も重要とされ、今も節分の日として残っているのです。季節の変わり目は邪気が生じるため、病気や災害が起こりやすいと考えられていたため、節分には様々な邪気払いを行い、無病息災を願いました。現代にも残る“豆まき”は鬼＝病気や災害に見立てて、「鬼は外！」と追い払うわけです。

※国立天文台の観測により、“太陽黄経が315度になった瞬間が属する日”を立春とします。(2025年は2月2日→節分、3日→立春です。)

鬼のパンツは、なぜ寅の柄？

絵本などでもたいい寅柄のパンツを履いている鬼。これには理由があります。“鬼門”は北東を指すのですが、この方角十二支に当てはめると“丑寅”なので、鬼は丑のツノを持ち、寅柄を身につけているのです。また、鬼門の反対側の方角は“戌・申・酉”です。昔話『桃太郎』の鬼退治に犬と猿とキジが相伴しているのも納得です。昔からの言い伝えには、全て大事な意味があるのです。



※鬼門＝鬼が出入りする方角と考えられており、建築でも玄関や台所など水まわりを避ける。

2月8日は“針供養”の日

昔は裁縫(針仕事)は大切な家事の一つでした。地域によっては12月8日だそうですが、2月8日を“事八日(ことようか)”といい、事を始めたり納めたりする大事な日とされ“針供養”をする風習がありました。一年間お世話になった折れたり錆びたりした針を、豆腐やこんにやくなど柔らかいものに指して、祭壇に奉納し供養するとともに、裁縫の上達を願ったそうです。現代では針を使うことが少なくなりましたが、日々愛用の道具や仕事道具を労り感謝して、安全や技術向上を願うといいかもしれませんね。ところで、家事の“さしすせそ”ってご存知ですか？“さ＝裁縫、し＝躰(子育て)、す＝炊事、せ＝洗濯、そ＝掃除”だそうです。現代人にとって、これを一人でこなすのは至難の業ですね。



冷蔵庫にお正月に使ったきな粉、残っていませんか？

いつも使い切れず、気が付いたら賞味期限切れになってる食材の一つだと思います。お餅につけて食べるのに飽きてしまったら、“きな粉クリーム”にするのがオススメです。パンやホットケーキに付けたり、アイスクリームに混ぜたり…食べ方も増えます。粉でむせることもないので、年配の方やお子様も食べやすいですよ。基本の作り方は…



砂糖：きなこ：豆乳＝1：2：3＋塩少々

豆乳は牛乳でも○。甘さや硬さはお好みで調節してください。油を加えるとより滑らかになり、生クリームやクリームチーズなど混ぜればリッチな味わいです。アレンジを楽しんでください！

プラスチック問題、一人一人ができること

日本人の傘の所有数は世界一で、一人当たり平均3.3本です。そして、電車の忘れ物も傘が断トツ1位。また、警察に届く遺失物でも常に上位で、なんと年間25万本だそうです。そのうち、持ち主に届くのはわずか2%弱なので、“傘はなくすもの、なくなってもいいもの”という意識を感じざるを得ません。特にビニール傘は劣化しやすく、分解が困難なため再利用が難しく、材質ごとに分けた後のビニール部(プラスチック)はほとんどが埋め立て処理されています。このような現状を踏まえ、傘に限らず何か新しく購入する際は、“使い勝手はいいか？永く愛用できるか？壊れたら修理できるか？”など、ちょっと立ち止まって考えようと思います。



傘は意外折り畳みのものが便利です。使い捨てにせず永く愛用できるもの、壊れても修理できるお気に入りのものを持つ。

株式会社ミズノ・空間設計ミズノのご紹介

住宅や店舗の建築・リフォーム・リノベーション等の設計～施工監理まで承っております。本社は港区七番町に、設計部・空間設計ミズノ(一級建築士事務所)は東区の名古屋陶磁器会館内に事務所があります。どちらの場所でもご相談が可能です。夜間や土日祝日、お子様連れでも大丈夫です。(相談は無料です【要予約】)



港区・本社



東区・名古屋陶磁器会館

詳しい会社情報や施工例はホームページでご覧いただけます。



第69回ミズノメセナイイベントのご案内

地域のみなさまの

『一隅を照らす』作品展

2023年 3月24日(金)～26日(日)
10:00～17:00

場所 | 株式会社ミズノ 本社1階ヴィレポヌール (名古屋市港区)
※地下鉄名港線 東海通駅1番出口より徒歩3分



本社1階ヴィレポヌール

“ヴィレポヌール＝本当の幸せ”と名付けられたこの場所は、コンサートや展示会等文化発信を行うメセナイイベントやお客様とのお打合せに使っています。家具職人だった先代が愛用していた道具の展示もしており、随時観覧が可能です。

急遽開催決定!!

作品募集 します!

コロナ禍で作りたいための自慢の作品をこの機会にお披露目しませんか？

絵画・工芸・書道・写真…ジャンルも年齢も問いません。電話にてご連絡の上、作品を持って港区本社へお越しください。(締切りは3/15です。)



住宅・店舗の設計・施工・監理
株式会社 ミズノ

〒455-0001
名古屋市港区七番町5丁目3番地
TEL: 052-652-6886
FAX: 052-661-0653
Web: www.mizuno1950.co.jp
Mail: mizuno@mizuno1950.co.jp

☎ 0120-387-312

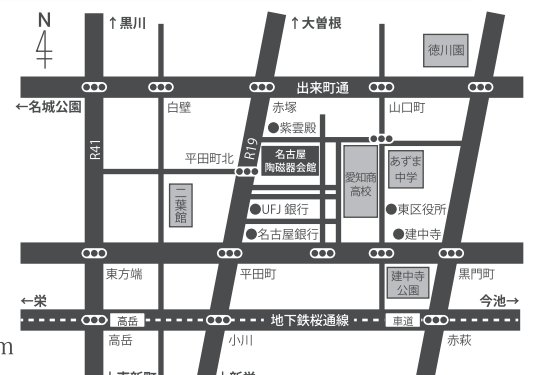


・駐車場は社屋南側と郵便局側にございます。
・市営地下鉄「東海通駅」下車、1番出口より徒歩3分

一級建築士事務所
空間設計 ミズノ

〒461-0025
名古屋市東区徳川一丁目10-3
名古屋陶磁器会館2階204号室
TEL: 052-982-8316
FAX: 052-982-8357
Web: www.mizuno-architects.com

住宅設計・デザインリフォーム・商店設計
コンバージョン(用途変更)・など



・最寄りの駅 市営地下鉄 桜通線 高岳駅(徒歩20分)
・最寄りのバス停 市バス 赤塚バス停・赤塚白壁バス停